平成27年度 事業報告・収支決算を承認
～第150回通常議員総会～

6月27日、第150回通常議員総会が、120名の参加によって開催され、平成27年度事業報告並びに収支決算を全会一致で承認しました。また、組織強化に関しては、11年連続で200社以上の新規会員加入を達成しました。会員の皆様のご協力に、厚く御礼申し上げます。事業報告の「主な成果」の概要は以下の通り。なお、事業報告概要版および決算概要はHPをご覧ください。

1．中小・小規模企業の経営力向上と持続的発展の推進

(1)小規模事業者等に対して、経営計画等の作成をはじめ、資金繰りや人材育成支援を行った。

(2)マイナンバー制度の基礎知識や具体的な対応策など、ケーススタディも含めた実務対応セミナーを開催した。

2．行ってみたくなる・歩きたくなるまちの再生

(1)全国に向けて古町芸妓のPRを行い、誘客促進による観光振興に繋げた。また、芸妓の技術力の向上を図り、花街文化・芸能の伝承を目的とした、第3回発表会「華つなぐ道」を開催し、成果を披露した。

(2)「新潟総踊り祭」や「Art Mix Japan」、「古町音楽祭」、「古町商店街ポスター展」、「ふるまち春フェスタ」などのさまざまなイベントを開催し、交流人口の拡大による中心市街地の賑わい創出を図った。

3．〝魅力度向上〟に向けた地域振興事業の推進

(1)開港150周年に向けた機運醸成を図るため、「水都にいがたスタンプラリー」を開催し、西港区の賑わい創出と、周辺イベントの認知度を向上させた。

(2)当地に誕生したNGT48を起用した新潟の魅力PR動画を制作し、インターネット上で公開した。英語字幕版も同時公開し、計3万回以上が再生された。

挨拶する福田会頭

4．提言・要望活動等の推進

(1)中小企業の活力と競争力の強化に向けた意見・要望活動を実施した結果、法人実効税率の引き下げ等が実現し、小規模事業者に焦点を当てた施策展開が図られた。

(2)新潟市の交通基盤整備推進の必要性を訴えた提言を新津・亀田商工会議所と合同で取りまとめて提出し、平成28年3月にBRTを中心にバスダイヤの改善が図られた。

5．組織・財政基盤の強化

(1)27年度は入会246社、退会144社、年度末会員数は4226社であり、102社の純増となった。また、パワーアップ5000会員紹介運動は、着実に成果を上げており、加入件数のうち107社が紹介によるものであった。

(2)ビジネス情報交換会を年4回開催し、BtoB拡大に向けた情報交換促進に努めた。

総会における表彰者

（関東経済産業局長表彰の表彰状伝達）**上原 敦常議員**／（日本商工会議所会頭の賀状伝達）旭日小受章 **佐藤 功常議員・藍綬褒章 佐藤健之議員**／（日本商工会議所会頭の感謝状伝達）**遠藤修司前専務理事**／（新潟商工会議所表彰規則に基づく15年勤続表彰）**中山輝也参与・高橋良樹議員**

中国【ハルビン】視察研修ツアーを実施
～新潟空港活性化（既存路線利用促進）、会員交流拡大事業～

6月17日から19日にかけて、新潟～中国・ハルビン線の視察研修ツアー（団長：福田勝之会頭、副団長：藤田普政策委員会副委員長）を実施しました。目的は新潟空港の活性化のため、実際の搭乗率アップに寄与し、同路線の需要喚起を図ることで、ツアーには20名が参加しました。

ハルビン線は1998年に就航し、ここ数年は中国からの訪日客の増加もあり利用者が拡大していましたが、運航する中国南方航空が成田～ハルビン線を昨年就航させた影響で、週5便から週3便に減便しています。繁忙期の7月11日から8月27日までは、週6便に増便されています。

今回のツアーは、国際経済貿易商談会を視察したほか、聖ソフィア大聖堂や斯大林公園、太陽島公園、氷雪芸術館などを見学しました。

貿易商談会は、1990年から毎年開催され、80以上の国や地域から20万人を超える買い付け業者や来場者が訪れています。商談会は、NICOが北東アジアへの販路開拓、経済交流の促進とビジネスチャンスの拡大を図りたい企業に対して出展募集をし、新潟県内から5社が出展していました。

なお、福田会頭は、18日に県の高井副知事とともに、黒龍江省の孫副省長と会談を行い、副省長からは新潟県との間に経済・国際交流の太いパイプが構築されることと、自国の高齢化対応のため、日本の介護関連施設を視察したい旨、要望がありました。

本ツアーは、会員交流拡大事業の一環としても実施されており、会員相互の情報交換や交流が図られました。

中国ハルビン国際経済貿易商談会の会場前にて

NGT48を起用したPR動画第2弾『古町フルスマイル！』公開中！

当所では、新潟の魅力を全国に発信するため、昨年に引き続きNGT48メンバーを起用した新潟の魅力PR動画の第2弾『古町フルスマイル！』（4分26秒）を制作し、6月13日、当所HP内特設ページなどで公開しました。

今回は、小熊倫実さん、加藤美南さん、佐藤杏樹さんの3名を起用し、NGT48劇場のある万代から、萬代橋を渡って古町エリアを散策し、様々な人やモノに触れながら、笑顔で地域の魅力を伝える内容になっています。

去る6月18日に、ハードオフECOスタジアムで行われた、AKBグループの選抜総選挙で、新潟が盛り上がりましたが、ぜひこの機会に、第1弾『NIIGATA（ここ）から始まるミライがある』と併わせてご覧いただくとともに、県内外の方に広くご紹介ください。

特設WEBサイトは下記QRコードから

第1弾

第2弾

地元企業の皆様へ 新規高卒者に対する早期の求人申込のお願い

6月7日、新潟市雇用政策課の高野英介課長、中新潟地区高等学校長会の青山一春代表、ハローワーク新潟の布施幹男所長から、求人申込み等に関する要請がありました。要請の主な内容は次の通り。

①7月末までの早期求人申し込み
②地元企業における体験学習の充実
③人権を尊重し、適正・能力を基準とする公正な採用選考

6月20日から、来春の高等学校卒業予定者への求人申し込みが始まりましたが、高校生の就職にあたっては、応募が1人1社制であることから、生徒が応募先を十分に検討し、地元企業への就職につなげることができるよう、早期の求人提出にご協力お願いします。

要望書を提出する青山代表（写真左）と当所早福専務理事（写真右）

54名を委嘱 ～小規模企業振興委員連絡会議～

平成28年度第1回小規模企業振興委員連絡会議を6月14日に開催し、54名の振興委員に委嘱状が交付されました。

振興委員は、地域の小規模事業者から経営改善や課題などについて相談を受けるとともに、当所の事業推進のため地域との橋渡し役を受け持っていただく方達です。

会議では、振興委員の役割や中小企業相談事業計画、各種共済制度、マル経融資等について説明の後、㈱帝国データバンク新潟支店長の半田純一氏から「熊本地震にともなう新潟県内企業への影響と有事における危機管理について」をテーマに、中小企業における事業継続計画策定の重要性などについて説明を聞きました。

紹興市人民政府の幹部ら一行と懇談

紹興市人民政府商務局副局長の楼 芳副局長をはじめ、紹興市幹部と企業関係者が6月1日、当所を表敬に訪れ、福田会頭と懇談を行いました。

同一行は、本年中に新潟市内での開催を予定している同市主催の「中国進出最新ビジネスフォーラム（仮称）」に先立ち、新潟県における投資環境や経済状況などを把握するため、当所を訪れたものです。

紹興市人民政府による当所への表敬訪問

紹興市は、紹興酒の産地として有名であるとともに、紡績・化学繊維、金属加工、バイオ・医療などに関する産業が盛んであるなど、新潟県と産業基盤が似ていることから、文化も含めた多方面での交流を深めたいとしています。

会員事業所の活発な企業PR ～ビジネス情報交換会を開催～

今年度2回目となる「ビジネス情報交換会」を6月23日に開催しました。

この情報交換会は、会員事業所間の異業種交流を促進しながら、自社のPRや情報交換で、新たなビジネスチャンスの獲得が期待できます。

当日は会員事業所32社が参加し、活発な情報交換を行いました。参加者は積極的に情報交換や企業PRを行い、会場は熱気に溢れていました。参加者からは「成果につながる可能性があり、次回もまた参加したい」との意見が多数寄せられました。

少人数グループでビジネスチャンスを探る